

地域の資源や環境は私達で守ろう

組織名 ささおのうちかんきょうほぜんかい 笹尾農地環境保全会
位置: 阿武町福賀 対象面積: 42ha

◆ 地域の現状等

当地区は平成19年2月に2集落で特定農業団体を立ち上げ農業に取り組んでいます。経営の主体は水稲、雨よけほうれん草、ハウストマト、露地野菜等で近年は水稲より野菜のウェートが高くなっています。本事業には19年度から取り組み、水路、農道、環境等の保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

2集落のメンバーが一体となり営農組合が農地・水向上活動、女性が環境美化等に取り組んでいます。



◆ 効果

本対策を利用し、農道、土手の草刈りや水路の泥上げ環境美化に取り組んできました。5年目をむかえ地域の皆さんの本事業に対する意識が向上し、以前に比べ農道、水路環境がきれいになってきました。また作業を全員ですることにより集落の一体感が高まってきたように思います。

◆ 将来の展望

この対策に続けて取り組むことにより地域の一体感が高まり法人化等に取り組む話し合いが深まればよいと考えています。また、水路や農道の維持管理や環境美化に継続的に取り組みたいと思っています。

丈夫で長持ち水路と畦

残しておきたいゴリ・メダカ

組織名 いいたにほぜんかい 飯谷保全会

位置：阿武町 対象面積： 27ha

◆ 地域の現状等

過疎化が進み、このままでは農地も荒れる所が出て来る。

1日も早く活動をすすめ、集落の皆で歴史と文化、農地を守って行くための努力をしている。



◆ 活動内容等

水路の初期補修 セイタカアワダチ草の駆除

水路の草刈 施設農用地を活用した景観に配慮した作付け

水路の泥上げ 施設その他の清掃

農道の砂利の補充 ゲート類等の保守管理の徹底

メダカの放流

◆ 効果

人と人との会話、触れあい等が多くなった。

ひとつの作業をする事により和みが生まれた。



◆ 将来の展望

飯谷の歴史と伝統を守り、新しい文化で取入、飯谷の良さを発信しよう。

法人化にむけて農地を地域ぐるみで管理して行く体制を整え地域農業の担い手不足や高齢化を補っていく事にしたい。今、勤めている若い者にも帰ってもらえる飯谷をめざして地域の和みを作って行く。

集落の「和」を持って、明るい地域づくりを！

組織名 宇久農地・水・環境保全向上隊

位置： 阿武町奈古 対象面積： 10.49 ha

◆ 地域の現状等

当地域は特定農業団体「宇久集落営農生産組合」を、平成22年農事組合法人「宇久ファーム」に改組し、高齢化が進む中、集落の活性化に努めています。その様な状況の中、当保全向上隊は、平成19年度より活動を開始し、集落の「和」を育む大事な役割をはたしながら、この対策を有効に活用し、集落保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

対象農地は1049a と比較的狭い範囲である事から、農地、農道、開水路等の徹底した管理を行っています。又「宇久ファーム」により、春には水田全面がレンゲの花でピンクのじゅうたんを敷き詰めた様な景観を作りだします。



◆ 効果

取組開始時より対象地域の耕作者と、集落全域の保全を目標とする「宇久自治会」で共同取組を実施している。その効果も除々に現れ最近では、春から初夏にかけてホタルの乱舞が見られるようになった。

◆ 将来の展望

今後、この対策を更に発展的に展開して行く事により、集落の連帯感を醸成し、皆が明るく楽しく安心して生活できる地域になると思っています。

住みよい 明るい 村作り

組織名 たぶほぜんかい 田部保全会

位置： 阿武町 宇田 田部 対象面積： 10.79ha

◆ 地域の現状等

当地区は、日本海に平行に走る国道191号線と国鉄山陰本線沿いの小さな集落です。大平山山麓に広がる小さな扇状地の中央部にあって、清廉な田部川の恵みを受け、6ヶ所の浴の水を取り広がっている、小面積の水田地帯です。高齢化と過疎化が進み19年度に当対策に加入して、農家、非農家を含め地域の保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

6つの浴からなる耕地に水路、農道等の管理、自治会、高齢者、婦人グループ等による、花壇の栽培管理、地域の環境向上活動を行っている。ため池、フェンス周辺の草刈りも行っている。



◆ 効果

共同活動をする事により、地域全体で環境を守るという意識で、関心が高まった。



◆ 将来の展望

高齢化と過疎化が進む中で地域で世代を超え多様な構成員同士が共同活動をする事により、お互いに話し合い、助け合い、楽しみながら永く活動して行きたいです。



魅力ある集落に

組織名 小野農地・水・環境保全組合

位置： 阿武町福田下 対象面積： 9.5ha

◆ 地域の現状等

当地区は、昭和44年9月に、土地改良事業計画にもとづき、県営福田地区ほ場整備事業が行われ、中央に河川と県道が走る細長い地域です。現在は、高齢化、過疎化が進み、深刻な問題ですが、この対策を有効に利用し地域の保全に取り組んでいるところです。

◆ 活動内容等

ほ場整備事業により、旧河川敷が側溝となり、そこから湧き水があり溝にメダカ、サンショウウオが生息している。この生態系を維持しながら農地を管理している。また、自治会、婦人会との連携を強化し、農村環境の向上として花壇を作った。このことは、阿武町の花壇コンクールで努力賞を得た。

◆ 効果

農家、非農家を含め、地域の連帯感が強くなり、共同作業など積極的に参加し、作業能率をあげている。また、農村環境への関心も高まり、花壇などの維持管理についても積極的な意見がでて、「きれいにしよう」とする気持ちが表面に現れるようになりました。



◆ 将来の展望

メダカ、サンショウウオは、阿武町でもめずらしく、なんとかその生態系を維持して、将来に残してやりたいと考えています。あわせて、猪猿などの獣に対する対策など、農業環境を整備し担い手を確保するとともに、更にこの対策を発展的に展開して魅力ある集落として地域の活性化に努めていきたいと思ひます。

ゆとりと岸高組

ぎしだかかんきょうほぜんかい
組織名 岸高環境保全会
位置:萩市大字高佐 対象面積:13.0 ha

・地域の現状について

本地域は、山口県北部に位置し、旧萩市県道 10～13 号線を約 30km 走った旧むつみ村高佐上に位置し東台の「むつみ演習場」を水源する羽月川沿いと蔵目喜川に展開する 1 集落の活動組織で、水田が中心の一毛作地帯とトマトの産地です。

その集落の平均年齢は、子供会 2 名を含めて 57 歳で、農業者の年齢は 67 歳で 10 年後は 77 歳になり農地保全作業の共同活動が難しい限界集落となる。

その現状の中、岸高婦人会・パンパカ子供会も活動している。



・活動内容について

環境保全会の看板「ゆとり岸高組」設置して、農地利用型環境保全ではヒマワリ・菜の花など植えることで集落の農村環境維持の意識を高めているとともに、地域用水を利用した「小池」をつくり、「憩いの場」としている。



また、集落内の農業用施設点検・濁水防止などを行い
地域用水の保全と草刈作業で農村環境維持を図っている。



情報収集は、県農地・水・環境保全向上対策協議会
主催の研修会などに参加して、今後の活動計画などの
参考にするとともに、各活動内容の検討を行っている。



・効果について

本保全会は、岸高稲作等集団栽培組合が昭和 47 年に設立され 39 年間農作業・地域環境保全活動などの共同活動が行われているので、集落内の農地・環境に対する保全意識と共同活動は十分認識されている。

そこで、環境向上対策の効果は、「パンドラの箱」を開けたことでその箱の中は、高齢化集落・後継者不足などの問題で集落内の絆が必要なことが再度認識されると共に、孫達にも自然の大切さ「農作業・川での魚釣りなど」を教える環境・方向性が見えたので将来へ希望がもてる基礎ができた。

・将来展望について

今後の農村環境の維持は、集落の絆を基本とし向上対策に取組み
農業施設の長寿命化を図ると共に、高齢者の知恵を引継ぎ・地域の人との
交流活動を行い、「岸高集落;ゆとりの岸高組」の継続を図っていく活動を行う。



農地・水・環境 地域の誇り

組織名 宮ノ前環境保全会

位置：萩市大字高佐下 対象面積：16 ha
(旧：阿武郡むつみ村高俣)

地域の現状

旧萩市と島根県津和野線の間位置する山口県の北海道と言われている山間地であり、何より高齢化と過疎化については極めて深刻である。そこでこの対策を持ち出して地域保全に取り組む為に農業者、婦人部、非農家、子供会、等と共に連携しつつ地域の発展継続に取り組んでいます。

活動の内容

用排水路の管理は水利組合と共同で、農道等の管理は中山間直支等と一緒に実施する事が多い農地は平成6年頃国営で8割位が整備されているが、未整備地区については農道の拡張工事、水路の新設、改修活動の実施と又環境活動として蔵目喜川の河川公園(漁礁を含)、河川敷の公園の草刈清掃
県道沿い耕作放棄地に子供会、婦人部等を主としてコスモスの作付等の活動をしています。



効果について

長年の耕作放棄地を利用したコスモスの作付には、子供会や高齢者等の参加が毎回多くなるの、役員達もびっくりする有様、公園等の草刈等でも参加者が予想したより多数の参加を得ている。まさに地域環境を守ろうとする意識の高い事が伺える。こうした共同活動を通して意識の向上は将来に向けての地域発展の大きな原動力となる事間違いない。この対策の5年間 この地域の将来についての希望が見えた実感している。

将来の展望

今後は この対策で地域のより発展を希望し構成員を含め地域全体で高齢者問題、環境問題、食の問題、多くの難問について話し合い、考えて行き 又 この対策を有効に活用して農地を環境保全、景観作りをより長く継続して行きたい。 農業が世代は変わっても持続出来る事が、孫、子、まで 農業で生活出来ること。

「頑張ろう」千人塚

組織名 こびらかんきょうほぜんくみあい
小平環境保全組合

位置： 山口市萩市 対象面積： 12.84ha

◆ 地域の現状等

当地区は、萩市の北東部に位置しています。この地域を中心に先人の方々が畑作から水田作へと協力され隧道を抜き溜池を造り水田にされた経過がある。しかしながら、現在、高齢化、過疎化が進み地域の深刻な課題であると考えています。そこで、各農家、千人塚水利組合、非農家が、一体となり地域の向上に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

千人塚水利組合が主に溜池を管理し、各農家が農地を管理していき水田が終わると農村環境向上活動として一部の農地に菜種の種をまき、地域の環境、美化を守っています。

◆ 効果

溜池に関しては、千人塚水利組合がサイホンの泥上げをトンネルの中の大量の泥を排出することが出来ました。また、菜種を植えたことで、農村環境への関心が高まったと思います。

◆ 将来の展望

今後、溜池、開水路の泥上げを定期的実施するとともに、地域の環境保全の一環としていろいろ花を植えたりと景観づくりを継続して活動をしていきたいと思っています。

担い手として力の続く限りふる里を守る



組織名 かみおがわ 上小川さとやま

位置： 萩市大字上小川

対象面積： 21.7ha

◆ 地域の現状等

山口県の北西部に位置した中山間地域の純農村地帯です。地域では深刻な高齢化、過疎化、少子化農業の担い手のいない状況であり、今までの5年間の様な形で今後5年間が進めば限界集落となり地域で人が住めなくなる可能性を秘めています。そんな中、農業に取り組みない若い人にも呼びかけて、地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

地域の皆の意識を上げる為看板の作成

地域の幹線道沿いに花を植栽

(高齢者など住民に広く参加依頼)

農地を守るため農業用水路の整備

農地を守るため農道の整備

環境を守るため公道法面などの草刈



◆ 効果

農地にセイタカアワダチ草が2mぐらい繁茂していた水田があったが3年かかって普通の水田に復元。

水田面積 21.7ha に関する水源(頭首工)は18ヶ所あり、小さい川からの用水は水量も少ないので、農業用水路は特に管理を充分に行い従来は水不足も度々あったが、その様な事がなくなった。



◆ 将来の展望

農地・水・環境保全向上対策は地域の環境を守り、地域内の人間の交流を作り出しており、又、農業経営にも幅広い効果があり、今後更に有効に活用して参りたいと思っています。

ふるさとをいつまでも

けき みどり まもるかい
組織名 毛木の水土里を守る会

位置:萩市大字吉部上 対象面積:11.4ha

◆ 地域の状況

本地区は、二級河川阿武川の支流惣津川とそれに合流する江良川の狭隘な流域に位置し、急傾斜な棚田では主に水稻が栽培され、集落はその西側の小高い位置に散在している。

営農状況は、農地は急傾斜・小区画で標高約 280mの高冷地にあることから専業営農が困難で、区内の殆どの農家が第2種兼業農家として耕作することによって地域環境は保全されている。

本活動組織は、平成 19 年度より地域住民一体となってこの対策に取り組んでいるが、農家・非農家共に高齢化している現状は、深刻な課題と考える。

◆ 活動内容等

本対策をきっかけとして、①農道や農業用排水路の草刈、鳥獣害防止柵の管理など共同活動の復活、②あじさいやスイセンの地域ぐるみによる植え付け、③濁水管理、自生りんどうの保護、刈草の堆肥利用など環境配慮に取り組んでいる。



◆ 効果

30～40 年前までは、「手間替え」による協力体制によって営農や地域環境が維持されてきたが、農業情勢の大きな変化や高齢化、休日就農という時間的制約等から共同作業は消滅し、「泥落とし」などで培われていた住民交流も希薄化してきた。

本対策による数回の共同作業の復活は、労力の軽減や個人では困難な作業を可能とし、地域ぐるみの活動は住民同士の談笑の場となり、お互いの健康を気遣ったり、地域環境への関心も高まった。



◆ 将来展望

高齢化と人口減少の歯止めが見込めない本地区では、今後ますます厳しい状況ではあるが、住民が集い安らげる地域として、この対策で守ろうとしている地域資源や新たに創造した花のある環境を末永く保全していきたい。



地域の農業発展のために

組織名 おおしまち かんきょうほぜんかい 大島地区環境保全会

位置： 萩市大島

対象面積： 126.82h

◆ 地域の現状等

本地域は、萩の沖合い約 9Km に浮かぶ面積 3K m²の火山台地の島であり、漁業も盛んであるが、農業では、ブロッコリー、葉タバコ、たまねぎの栽培が盛んである。しかし近年農業従事者の高齢化が進み、耕作放棄地の増加が懸念される。そこで、平成20年度より、この対策を有効に利用して全島住民の協力体制を模索しつつ地域の環境保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

耕作放棄地の解消のため重機を使った作業や、また、遊休農地解消のため、地域の環境保全の一環として、小学校と連携してコスモスによる景観づくりをしている。水田の水路の清掃をし、生体系調査をしている子供達に観察してもらった。



◆ 効果

耕作放棄地や遊休農地を解消したため、一般農家や葉タバコ栽培農家、ブロッコリー農家との小作契約面積が増加した。



◆ 将来の展望

今後、この対策を有効に利用して、地域と学校とより連携をとり景観づくりの一環としてコスモスロードを作り、地域住民と楽しみながら活動をしたいと思っています。

自然のままの田舎の風景、

そしてそれを育てる心

組織名 ごうかんきょうほぜんかい
郷環境保全会

位置：阿武町宇田郷地区

対象面積： 7.86ha

◆ 地域の現状等

宇田郷地区の中心にあつて、戸数40戸(うち農家18戸 うち販売農家8戸)で構成、役場支所(公民館)、寺社、駐在所等を擁していることから、とりわけ農村環境の保全と質の向上が我が組織の使命であると自負している。幸い約10年前に、圃場整備も完了しており、大きな欠損もないところから環境的には現状維持型の活動となる。

◆ 活動内容等

地区中心部の道路法面の花木植栽(ツツジ、アジサイ)と草刈省力をねらった農道舗装(コンクリート)を主体にとりくんできた。



◆ 効果

農道舗装は、通行や維持管理が楽になる他、近隣住民の散歩道として、朝露を気にせずに歩けると評判が良かった。

◆ 将来の展望

高齢化が進んだ現在では、田んぼの周辺の草刈が最大の課題である。草刈作業を軽減化するに有効な(強力な定着力、カバー性)カバークロープの試験栽培にとりくみたい。

結束力で未来へ

組織名 こうちほぜんかい
河内保全会

位置： 阿武郡阿武町奈古

対象面積： 18.33ha

◆ 地域の現状等

当地区は、平成10年頃基盤整備を終えました。現在高齢化が進み、30戸たらずの水田農家の内1/3が預かっている状態です。そんな中、平成20年から、当活動を知り、少しでも農家の助けになればと対策を利用し、地域保全を有効活用出来る様に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

営農組合では、農地・水路を主体に管理し農地・水向上活動を実施しています。また、集落、婦人会を中心に、営農組合員の力を借りながら、地域の環境美化を維持するための農村環境活動を実施しています。

◆ 効果

当初は、手探りでぎこちない活動でしたが、回を重ねるうち、地域の高齢女性の方の参加が増え、今では環境の維持だけではなく、コミュニティ活動の場として喜ばれています。この活動も、三年が過ぎ、自分たちで出来る事は自分たちで、自分たちの集落は自分たちで守るという意識も高まりつつあります。

◆ 将来の展望

今後、この地域は構成員が減少すると、法人化に向けての動きが連動し、少人数でも出来るまで維持していかなければならず、覚悟して活動していきます。

みんなで守る水と農地

組織名 おおみどりかい
青海水土里会

位置： 萩市大字椿青海

対象面積： 9.07ha

◆ 地域の現状等

旧萩市の郊外に位置し比較的、農道、用水路も整備されている。平成20年6月に大屋川門田頭首工の改修工事も終了し、掛る水田への水の供給も以前に比べ容易になりました。兼業農家も多く、65才未満と70才以上と約半々で色々な保全作業も比較的順調に推移している。

◆ 活動内容等

大屋川門田頭首工の管理を主体とし掛る水田への用水供給が順調に行える事の管理も合わせ行っている。町内会、子供会による地域の環境整備、隣接の小学校児童によるレンゲの播種や婦人部による土手にコスモスや曼珠沙華の球根の植付等の環境美化に努めています。

◆ 効果

会の活動により組織だった活動を行う事ができ、今まで見過ごされてきた個人に掛る以外の場所の環境整備に力を入れる事ができた。



◆ 将来の展望

会の活動を維持していく事により組織だった開水路の維持管理、地域の環境整備をする事が出来ると思う。高齢化に伴い活動できる構成員も限られてくる心配はある。これから解決の方策はすべて農業に展望を見出す事ができるかどうかにかかっている。

大井川水系の変化と農業の再生に向けて

組織名 大井川流域みどり保全会

位置： 萩市大井地域

対象面積： 100ha

◆ 地域の現状等

大井川流域に広がる水田と水田を畑地転換した柑橘園地が該地である。水稲作物として付加価値の高い種籾を地域の戦略品目にした。又、国策の一環として柑橘園地に転換し産地化を形成している。裏作として玉葱とブロッコリー栽培等の複合経営が主流である。大半の土地は、圃場整備は進んでいない。土地改良施設の老朽化と農業者の高齢化は進んでいる中で、産地を維持する事は難しくなっている。特に、用排水路の施設整備を図ることが重要であることから、非農家者の参画を得ながら環境美化にも努めたい。

◆ 活動内容等

水利組合は3組織あるが、いずれも大井川水系を主体に各農業生産体制の部会により農地・水・環境向上活動を実施している。遊休農地等の歯止めや、農道の草刈り、砂利補充、水路の泥上げ等実施して、地域の環境、美化に努め、農村環境向上活動を推進したい。



◆ 効果

大井川水系に3つの水利組合があります。各組合は、農道及び用排水路の維持管理は、全員参加がもつとうであるので、地域全体で環境を守っていこうとする意識は高まっているので相互扶助の精神高揚の効果が表れています。

◆ 将来の展望

大井川水系周辺的美観と農業用排水路等資源の維持、管理を通じて、農村環境の保全に取り組む中で、子供達が大井川に何らかの係わりを持って自然の大切さや、生命を学習する教育の場を設定した、生態系の保存につながる営みを繰り返し広げていく活動としたい。

鵜山の再生に向けて

組織名 鵜山かんぎつの会

位置：萩市大井鵜山地区

対象面積： 24.70ha

◆ 地域の現状等

本地域は、海沿いの台地に開けた柑橘園地区で、日当たりが良い温暖な気候から、高品質の柑橘類の生産地として知られている。しかしながら、現在、高齢化が進み防風壇等が支障となり、良好な園地が少なく、生産に期待がもてない不利な環境が進んでいることから、この事業を有効に活用して農家、漁家等を含め連携を計りながら、農地保全に努めている。

◆ 活動内容等

鵜山農道管理組合が鵜山農道を継続的に維持管理するなかで、蒙古襲来の防護壁と伝えられる石組みの保存に努めたい。一方柑橘は価格の低迷が続いている中、柑橘経営の悪化により、荒廃園が進んでいるが良質な柑橘産地を存続させていく課題は重要であり、農村環境の向上を併せ活動に役立てたい。

◆ 効果

園地の荒廃を喰い止める中で、鵜山農道を継続的に整備して、蒙古襲来時の防護壁の歴史的な価値を高めるよう維持管理して、保存したい。又、農道整備は良質な産地として位置づけられており、今後は担い手等後継者の育成を図りながら、生産体制の堅持に努めたい。

◆ 将来の展望

鵜山の生産基盤である農地は、不整形な段々畑を狭隘な農道が結ぶ条件の悪い土地が多いが、自然景観にすぐれた所であるので、この環境を維持して効果の高い共同活動が継続出来るようにしたいと思っています。



集落営農は結束力で！

組織名 はがみどりたい
羽賀水土里隊

位置：萩市大井 対象面積： 5.3ha

◆ 地域の現状等

当地区は、萩市大井にあり、丘陵地帯に囲まれた中山間地である。水田は、昭和58年に、圃場整備されたものの、平地に比べて小さく、傾斜もあり恵まれた条件ではない。

この様な状況に加え、高齢化も進んで、農地の維持、管理が難しくなってきた為に、平成19年よりこの対策や、集落営農の法人化に取り組んで、今後の地域保全に活用してきている状況である。



◆ 活動内容等

水稲への水が不足する為に本郷地区の「三明戸」からパイプラインで水を揚げている為にパイプラインの保全、集落を流れる水路の利活用。

畦畔、法面の草刈り等の農地・水向上活動を非農家を含めて小さいながらも実行しています。下流に「平成の名水百選」に選ばれた「阿字雄の滝」があるので、水の汚濁には注意した活動をしています。



◆ 効果

世帯数8戸と小集落なので、以前より団結心はあったものの、自己利害の対立はあった。しかし、取組むことによって、話し合い、相互理解も増し、非農家の方も含めて、より強い結束力が出来たし、自主的に活動が進むようになった。

◆ 将来の展望

今後、この対策を続けていくことによって、後継者に引継げる農地の維持、施設の保全に努めたい。平成25年に集落の中央まで市道が拡幅されるので、地域環境保全の一環としての「景観作り」により注力していきたい。

「河内水土里の会」で守ろう農地と水を！」

かわちみどり かい
組織名 河内水土里の会

位置： 萩市三見河内 対象面積： 14.3ha

◆ 地域の現状等

我が地区は、平成19年度から県営圃場整備事業が開始され、今工事が進行中で平成23年度に完了する予定である。地区住民は、完了後の農業に大いに期待しながら楽しみにしている。しかしながら、高齢化率50%以上になり、少子高齢化が急速に進み、地区の大きな課題となっている。そこで、平成19年度からこの対策を活用して、農家、非農家を含め地区全体で協働しながら、地区の保全、活性化に取り組んでいる。

◆ 活動内容等

本会が、主体になって、本地区の川や農道、畦、無耕作地等の管理を計画し農地・水向上活動を実施している。また、町内会や子供会と連携しながら、地区の環境、美化を守るために農村環境向上活動を実施している。



◆ 効果

もともと、本集落は自治会主催の祭りや共同作業等において協力的であったが、組織が出来て、より団結し積極的に参加するようになった。また、集落全体で環境を守っていかなければならないとの意識や農村環境への関心が高くなってきたと思われる。この対策も最後の年となり、それと同時に、本地区の圃場整備工事が完了するので、地区住民の農業と環境に対する意識は、いやが上にも上がっている。

◆ 将来の展望

将来は、この対策をより有効活用することにより、スローガンのもと将来の農村や食の安全、安心について話し合っていきたいと考えている。また、本対策を有効活用して水路の草刈りや泥上げ等を定期的実施するとともに、地区の環境保全の一環として、ため池(ビオトープ)に花菖蒲等を植えたり、また農道にプランタンによる景観づくりを継続したい。新たに、蓮華等による景観づくりにも取り組んでいきたい。これらの取り組みを地区住民と楽しみながら、共同活動を推進していきたいと考えている。

「島特有の景観」を次世代へ！

組織名 相島地区環境保全会

位置： 萩市相島 対象面積： 81ha

◆ 地域の現状等

相島地区は、萩市の沖合いに浮かぶ小島である。島特有の段々畑で主にスイカ、葉タバコを栽培している。現在、高齢化、過疎化が進み、地域を支える人材の不足が深刻な課題である。本会の発足以来、農家、町内会が連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

農家、町内会が連携して、農地・水向上活動を実施している。また、地域の子供たちを加えスイカオーナー制度を活用して地域住民をはじめ島外住民との交流会、農村環境向上活動を実施している。

◆ 効果

当初、「地域の協力が得られるだろうか？」役員の皆さん、大変不安でした。しかし、本会発足で地域の連帯感も生まれ、活動にも積極的に参加しています。構成員の一人一人が地域を自分達で守ろうという意識が芽生えてきています。また、地域の宝である子供たちも交流会活動に参加することにより、地域環境への関心も高まっています。子供たちの活動への参加が、未来の地域を支える人材の育成に貢献していくと思います。



◆ 将来の展望

将来、本会の活動に多くの構成員が参加することにより、活動を通じて地域の将来についてこれまで以上に感心を持っていただけると考えています。また、地域と連携して定期的に草刈、清掃を実施するとともに、遊休農地等を利用し花の植栽による景観づくりを取り入れ、地域の環境保全に努めていきたいと思っています。

遊休農地をなくそう！！

組織名 はっちょうかたじりかい
八町片尻会

位置： 萩市見島八町八反

対象面積 14ha

◆ 地域の現状等

高齢化にともない、耕作放棄の水田が地域の3割以上に及んでいる。参加区画に入っている所は、耕起しているが他は荒地になっている。

◆ 活動内容等

1. 参加区画の一円の溝掃除及び泥上げ。
2. 耕作放棄田の草刈り及び耕起。
3. 側溝の補修。配水施設のメンテナンス。



◆ 効果

1. 今までパイプラインや排水ポンプの修理など、すべて個人負担でしたが、会から援助ができる。(日当なども)
2. 地域の人々にも、声がかかけやすくなり、参加者が全員出席するようになった。



◆ 将来の展望

できる限り遊休農地をなくす。
法人化の検討。



ホタルの住む美しい山田を子供たちに残そう

組織名 やまだちく のうぎょう かんがえるかい 山田地区の農業を考える会

位置:萩市山田 対象面積: 21.5ha

◆ 地域の現状等

当地区は萩市内中心部から西へ約5キロの中山間地区で、農家戸数100の集落です。耕地の基盤整備は完了しておりますが、最近では耕作者の高齢化が進み、その上猪などの被害が毎年増加し耕作意欲を阻害しており、将来が案じられるところです。

このような中、平成19年度よりこの対策に取り組み、離農された方を含め地域をあげて保全に取り組んでおります。

◆ 活動内容等

地域全体での取り組みは、4月田植え前に集落周辺の草刈り、水路の掃除、空き缶等のゴミひろいなど、体力に合わせて、地区全体で行っています。

また、農道がかなりの距離がありますが殆ど未舗装であるため管理に皆苦勞しておりました。そこで傾斜のひどい部分から計画的に舗装を進めており関係者から喜んでいただいております。

◆ 効果

集落全体で取り組むといったことはこれまでは、殆ど無くこの事業によりそのきっかけ作りが出来たことは非常に大きな成果です。今年も6月4日に「第15回ホタル祭り IN 山田」を開催しましたが、お祭りへのお手伝いの方が上は70歳代から下は20歳代と多くのお手伝いいただけるようになり、地域のコミュニティーの場として大変盛り上がりしております。



◆ 将来の展望

この対策をきっかけに遅れています共同化を考えていけばと考えております。山田地区が一体となり住みよい山田を作り、地元から出て行った若者が、将来帰ってこられる山田地区を作って行きたいと考えております。

地域ぐるみで 活性化へ

組織名 こま 木間水土里保全会

位置： 萩市山田木間 対象面積： 42ha

◆ 地域の現状等

平成12年度より中山間直支等事業に取り組んで来まして、第2期事業も終わりました。しかしながら、全面積を対象区にしていなかったため、それ以外の地区へ本対策事業を広げながら、平成19年から平成22年まで活動をして参りましたが、まだまだ不十分な所もあります。又、研修等を通じて、本対策事業を理解しつつあります。

◆ 活動内容等

- ・ 各研修視察への参加。景観作物の栽培と教育現場との交流。
- ・ 集落内の要項に乗とった点検の実施。(水路、ため池、圃場、その他)
- ・ 獣被害防止作業(いのしし等)
- ・ 用排水路の保全改修と土シャの除去、新資機械の装置
- ・ 大型農機が進入可能にするための工事等

◆ 効果

- ・ 獣害防止柵の設置。約60%カバー
- ・ 配水路の修理、資機会の設装置。大洪水でも安心。
- ・ 農道の危険箇所の改善(大型農機の自走の安全)
- ・ 河川サイドの雑草木の除去



◆ 将来の展望

叫ばれている、TPP 交渉に断固反対をして、我地、故里の景観を高めながら、田舎のもつ本来の姿をとり戻して、担い手並びに跡取りの住めるふるさと造りを勧めながら、採算のとれる農業をすることをめざす体制をつくりたい。

住みよい環境をめざして

組織名 やまだち かんきょうほぜんくみあい 山田地区環境保全組合

位置：萩市川上 対象面積： 13ha

◆ 地域の現状等

当地区は、昭和 56 年度にほ場整備事業が完了しました。以来 30 有余年が経過し高齢化・過疎化・後継者・施設の老朽化などが深刻さを増し切実な課題となっています。平成 19 年度よりこの対策と取り組み、農業者・山田自治会・農業法人を含めて、連携を深め地区環境の保全と取り組んでいます。

◆ 活動内容等

地区内では、山田地区再編推進組合と京床原水利組合が明木川水系を主体に農地を管理していたが、農事組合法人かわかみが設立されたことを機に連携し、山田自治会を含めた地区の環境は自ら守ることを主眼に活動を進めています。



◆ 効果

明木川水系堤防の雑草刈を自治会及び耕作者など多数の参加を得て毎年実施しております。この対策も 5 年目となり、地域の環境は地域で守って行うという意識が定着してきたのではないかと考えられます。また、水田耕起・代掻において排水口の管理を徹底した泥水流出防止等の効果が着実にあらわれている。

◆ 将来の展望

過疎化・高齢化・後継者不足等の諸問題は一地区では解決しがたく、農事組合法人を主体に、地区農業者との結びつきがさらに望まれる。現状を維持するためにもこの対策を展開していとともに、組合法人の充実を期待するものである。本対策を活用した畦畔・法面の草刈り・水路の泥上げ・用排水路及び農道の補修・空き缶拾い等を実施しているが、更に住みよい環境づくりを目指す活動をしたいと思います。

農業を理解し、意欲ある若者が現れることを切望するものである。

白上地域を護ろう

組織名 白上地区環境保全組合

位置：萩市 対象面積： 9ha

◆ 地域の現状等

14ha あった水田が、公園、工場建設などにより、現在9ha になった。阿武川より大きい水路による、受水であったが、ダム建設により、ポンプアップによる受水となった。水田農業としては大きいマイナスである。

◆ 活動内容等

- 1.水路の補修、清掃
- 2.農道の補修、草刈り
- 3.周囲にある阿武川堤防の草刈、清掃、樹木等の伐採除去



◆ 効果

取組後は、組合員の意識が高揚した。草刈、清掃の回数が1~2回増すことが出来た。



◆ 将来の展望

山間部の水田が荒廃していくなかで、条件のよい白上地区の水田を、川上地域の為にも守って行きたい。



絆でつなぐ地域との連携

組織名 さこちくかんきょうほぜんくみあい
佐古地区環境保全組合

位置：萩市川上佐古集落

対象面積： 3.3ha

◆ 地域の現状等

当地域は、萩市阿武川支流の明木川を水源として井堰があり農用地は未整備であり、農業用施設の維持管理は少数ながらの地域ではあるが、大半は 50 歳後半で川上地域の中では若い地域であり皆が協力しあって維持管理をしている。

農業規模については、非常に小さく水稲のみである。

◆ 活動内容等

地域では彼岸花が繁茂して秋の収穫頃には大変きれいであるため新しい農道沿線に移植することでモグラ対策にもなり農村景観を守ると共に土の流失防止を図っている。

遊休農地発生防止のための保全管理



ゲート類等の保守管理の徹底



◆ 効果

遊休農地が減少している。

◆ 将来の展望

少数農家ではあるが地域との絆を大切にしながら遊休農地をなくし、農村環境・景観を大切に維持管理に努める。

法面の草刈り回数を増やす

組織名 炭久保名崎農地水環境保全組合

位置： 萩市大字下小川 対象面積： 6.3h

◆ 地域の現状等

地域内の農地・農業用施設等について、関係農家が保全管理を実施しているが、高齢化等により保全活動が同様に出来るか問題となっている。平成19年度より、この対策を基に農用地、農道、開水路の法面の草刈り、保全に取り組んでいる。

◆ 活動内容等

当地区の農道法面や排水路の法面は、長く広いため、今までは、年に1~2回の草刈りであったが、活動実施項目で年4回を計画、組合員、組合で実施又、自治会の活動に於いて草刈りを実施し、組合地域全体で保全活動に取り組んでいる。

◆ 効果

高齢者や他地域からの耕作者が多いため、取り組みが出来ないかと思っていたが、組合員全員が率先して草刈り等を実施し、組合員の中には(高齢者)自走草刈機を購入し、年4~5回の草刈りを行い、環境美化に取り組み農業施設等が維持出来ている。



皆の力で地域を守ろう

組織名 おおくらかんのののうちみずかんきょうほぜんたいさくくみあい
大倉観音農地水環境保全対策組合

位置： 萩市中小川 対象面積： 7.29ha

◆ 地域の現状等

現在、高齢化、過疎化が進み、草刈り等、昔に比べ一人の負担が多くなっていますが、この対策により今まで以上、地域を守ろうと一人ひとりが意識して取り組んでいます。

◆ 活動内容等

当地区は、小学校があり、自治会、子供会や学校、幼稚園の職員と共に、環境・美化に努めています。



◆ 効果

当初は、やっていけるか不安でしたが、連携をとりながら、今まで手がつけられなかった箇所
の草刈りをするなど地域を守るという気持ちが強くなったと思います。

◆ 将来の展望

過疎化のなかで、この対策で強まったまとまりを更に強め、地域に役立つ様にしていきたい
と思います。又、農道沿い花を植えています、地域の方の散歩のコースになっていますので、
続けて、景観づくりに取り組むこととします。

遊ぼう、菜の花畑の中を。

組織名 本郷井堰農地水環境保全対策組合

位置： 萩市大字下小川、中小川一円 対象面積： 24.5ha

◆ 地域の現状等

本郷原は萩市下小川と中小川にまたがる 24ha の平地であり、田万川が本流で本郷井堰が受益地の用水の源を担っている。県営圃場整備により基盤は整備されたため、これまでは後継者不足にも高齢化にも対応ができてきたものの、限界状態にきている。よって、団体経営により機会の集約や共同作業による効率化を図ってきた。しかし、後継者不足による1人当りの農家経営が大きくなり、施設の管理が行き届かなくなってきた。よって集落全体でこの地域の農村を管理していくことが必要であることや地域でのコミュニティーづくりが必要となっている。また、農村環境は、たとえば、山手から耕作放棄地が生じ始め、農地周辺の管理は行われているものの、河川等は草刈りもままならない状態が出始めてきている。水田も1毛作で米のみの環境となっている。

◆ 活動内容等

上記現状に対応するため、農地の管理を始め農道、水路、ため池施設の管理を集落全体の取組みとして、草刈、土砂取り除き、点検、補修等を実施している。また、昔懐かしき農村の環境を創作するため、2ヘクタールの菜の花の作付けを行い、春祭りを実施している。受益者による豊作祈願祭をはじめとして、菜の花

まつりを実施して、地区の子供たちや親と共に菜の花むすびや豚汁(猪汁)を一緒に食べる。こどもたちは菜の花の中で、追いかけてごっこや菜の花での手遊びに夢中になる。この祭りをさかいに、農家は春の始まりを感じ、心身ともに気を引き締める時期となる。



◆ 効果

耕作放棄地が出始めたところが、菜の花の植栽により見事な景観となり、地域に活力が出始めた。

◆ 将来の展望

ここ本郷原は、下小川と中小川を中心部に位置しており、その中を主要地方道益田阿武線が通っている。農村の環境が車の中から手に取るように分かる地区であり、一連の菜の花は農村環境を見事に変貌させ、車を止めて景観に親しむ者も多い。もっと面積を広め、農村環境の景観形成に努めたい。

年取っても、父ちゃん・母ちゃん、

「元気・健やか」

これも組織活動のお陰です。

すがたちくのうち・みず・かんきょうほぜんこうじょうきょうぎかい
須瀉地区農地・水・環境保全向上協議会

位置 萩市大字下田万 対象面積 8.32 畝

・地域の現状等

「小規模・高齢者」の組織です。

当地区農地(水田)は、昭和のはじめに「まちなおし」を行った程度であり、生産基盤整備を終えた水田が並ぶ今の田万川地域内においては、一ほ場面積は10アール程度と大変狭い状況である。

また、高齢(平均年齢70歳・65歳以上割合72%)などにより、水稻栽培をやめる農家も生じているが、その農地は地域内の大規模水稻経営農家が引き継いで栽培をしている。そしてその面積は地区内の6割以上に達しており、後継者が水稻経営を引き継ぐ農家は少ない。

・活動内容等

5月に水路泥上げ、コスモス畑づくり・コスモス種まき、花しょうぶ中草刈り

7月にコスモス定植、8月に遊休農地草刈り、コスモス中草刈り 10月に施設点検・機能診断 11月にコスモス刈り倒し、遊休農地草刈り
農道補修、水路補修、農道草刈り、役員会・総会など

・効果

①地域の活力が出てきた。→共同活動によりお互いにより刺激を受け、老いても元気で若々しく行動している。

②地域の合意形成がよくなった。→他人の意見を聴き行動することが苦手な地域であったが、この事業の行動精神・全員で協議し行動するを実践、決定事項には積極的に参加する姿勢が向上した。

③地域の環境、景観がよくなった。→地域に初夏には花しょうぶ、秋にはコスモスが咲き、各家庭にもお花園が広がって、花の交換、栽培方法の勉強などを行うようになった。

・将来の展望

今年度をもって、この事業を終了することとしている。今後は農道の草刈り、水路の泥上げ、農道・水路補修は農事組合、農家が行う。また、水田に植えた花しょうぶは、水田所有者が管理を行う。



協働作業で地域に活力を！

組織名 びおと一ぷくらぶ江津^{えづ}

位置：萩市江崎 対象面積：12.8ha

・地域の現状

当地区は、萩市田万川地域の北部に位置し、日本海にそそぐ2級河川江津川の周辺に開かれた地域で、地下水が高く米単作で耕作しています。以前から耕地整備、農道などの農業用施設の整備を行ってきました。農地及び農業用施設の保管理は、各農家で実施していますが農業者の高齢化や離農が進み困難になってきました。

・活動内容等

江津耕作組合が用水源のため池と江津川水系の井堰を管理し、組合を構成している農家が農地を主体に管理しています。

農地・水向上活動の実施は、農家及び耕作組合を中心に、任意の営農グループ及び非農家が連携し地域の環境保全などの各種活動に取り組んでいます。

・効果

地域活動を協働で行うことで、非農家との交流が進行し、地域内の一部ではあるが、活力が生まれはじめた。

また、環境保全活動を行うことで、農業用施設の維持管理が容易になり、耕作放棄地の進行スピードが鈍くなった。

・将来の展望

農村環境の保管理は、耕作放棄地をいかに発生させないかが、最大の課題と思います。このためにも農業用施設の維持管理をいかに容易にするかが農村の魅力発揮の条件と思います。会員と協議をかさねながら、農村環境の保管理の対策を構築し、次世代に耕作放棄地の少ない環境を引き継ぎたいと思います。



平山台を元気に！

組織名 大地ひらやま

位置： 萩市田万川地域

対象面積： 42ha

◆ 地域の現状等

平山台は、昭和30年代から果物の植付けが始められ、現在、桃、梨、栗、ぶどう、りんごなどの果樹団地を形成しています。これから、農業従事者の高齢化が進行し、農地や農業用施設の保全管理が難しくなるのが予想され、各農家、土地改良区、果樹生産組合が一体となり、地域資源の保全向上活動に取り組んでいる。

◆ 活動内容等

農地の草刈や施設の機能診断、パイプライン、鳥獣害防護柵、防風ネットの適正管理に努めるとともに、景観形成活動にも取り組んでいる。

また、異常気象後の見回りや定期巡回点検、空き缶拾いを実施している。



◆ 効果

交流体験の場を設けようと、青年部、女性部によるコスモス、ひまわりの植栽やさつまいもの植栽に取り組み、平成22年10月に第1回平山台まつりを開催するに至った。

このイベントには、約280人の参加があり、盛況で、山口県立大学生の協力をいただき意見交換も行うことが出来た。

◆ 将来の展望

平山台地の環境整備に努め、自然体験の場をより充実させたい。小中学校やPTAと連携して、自然の大切さや生命の尊さを学習する教育の場として農事体験を実施させていきたい。

千石台環境美化

組織名 千石台保全会

位置：萩市千石台

対象面積： 78ha

◆ 地域の現状等

女性部の活動により美化の維持をしている。

◆ 活動内容等

1.植栽のための植付及び計画植栽

2.植栽の維持管理等

◆ 効果

過去より美化の向上になった。

◆ 将来の展望

現在を維持していく予定。



農地は地域の財産 地域が守る！

組織名 おぐにのうちみずかんきょうほぜんかつどうたい
小国農地水環境保全活動隊

位置： 萩市大字片俣 対象面積： 18.1ha

◆ 地域の現状等

当地区は、平成8年に国営農地再編パイロット事業により圃場整備をし、同年に機械化集団として営農組合を立ち上げました。平成13年には、集落内全戸加入による農事組合法人、小国ファームを設立し現在に至っています。しかし、現在では高齢化が進み農家個々の完結型農業は限界を迎えており、「農地は地域の財産 地域が守る！」を合言葉に集落全体で農地及び環境保全活動に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

農地、農道、水路、ため池等は農事組合法人が中心に管理しています。女性や高齢者は環境美化活動を中心に活動しています。

◆ 効果

法人の営農活動と相まって、安全で安心できる農産物の生産をする気運の醸成と地域の環境保全意識が高まってきました。また、環境保全活動や先進地視察を通じ地域内の連帯感が強まってきたように思われます。

◆ 将来の展望

この活動を継続することにより、より緊密な連携を深めるとともに、環境保全活動にあわせ、地域の文化の継承や有形、無形の文化財の維持発展につながるよう活動の範囲を拡大できるよう願っています。



老人パワーで頑張るぞー

組織名 大藪地区親睦会

位置： 萩市大字吉部 対象面積： 4.3ha

◆ 地域の現状等

当概地区では市東北部で稲作が中心で、若干施設野菜栽培に取り組む地域です。しかし、農業者が高齢化と兼業農家で深刻な問題ですが、平成19年度の対策交付金を利用して維持管理を農家と非農家と連携し環境と農地保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

歳日喜川の水系を主に利用して管理し農地、景観形成、水質保全等を実施しています。



◆ 効果

営農集団はないのですが、対策交付金によって各農家、非農家がレベルの高い共同作業、環境美化等の活動の結束力に期待が持てるようになりました。対策も5年目となり、今後対策交付金受けより、関係者の活動が高まっていく事を願います。



◆ 将来の展望

この対策を更に発展させ、より充実した活動を実施し、又地域の交流と農家が抱える高齢化、担い手不足等の問題を克服することを目標に頑張っていきます。

「農地・水・環境」私たちの

美しい財産を次の世代に！



組織名 の だ だいこうじかんきょうまもりたい
野田・大光寺環境守り隊

位置： 萩市大字吉部下

対象面積： 42ha

◆ 地域の現状等

当地域は、萩市北東部の中山間地域に広がる水田地帯で稲作を中心とする地域である。県営圃場整備事業により基盤整備はほぼ完成しているが、農業者の高齢化とともに、施設の維持管理が課題となっている。そこで、営農生産組合や住民と連携を深め、この対策を有効活用して地域の環境を守りながら農地等の保全に取り組んでいる。なお、営農生産組合は平成23年1月17日に、農事組合法人登記をし、「大吉部」という名称になった。

◆ 活動内容等

むつみ土地改良区大光寺地区運営委員会が2つのため池を、火の原水利組合が1つのため池を、藤目谷水系は農業者が主体に管理、農事組合法人「大吉部」が農地を主体に管理するなど農業者と組織が連携して農地・水向上活動に取り組んでいる。また、高齢化が進む中、ため池の管理が容易に行われるよう管理道の開設や取水施設の改修などに取り組んでいる。なお、自治会や子供会が地域の環境美化のため、花の植栽など農村環境向上活動に取り組んでいる。



◆ 効果

役員や世帯主のみの参加になるのではないかと懸念していたが、女性や高齢者さらには子どもたちも参加し、地域全体で活動できるようになった。特に、大光寺集落で行われている「ほたる祭り」には野田集落の住民も参加し、また、子ども会も参加して「ほたる祭り」を盛り上げている。これもほたるが生息する環境を守っていこう、地域全体の環境を守っていこうとする意識が向上し、関心が高まったのではないかと思う。

◆ 将来の展望

今後、この対策に地域全体で取り組むことにより環境保全についての意識がさらに高揚し、美しい自然環境を次代に引き継げるよう努めたい。また、ため池の管理や開水路の草刈、泥上げを定期的実施するとともに、集落内の道路に花を植栽し、環境保全意識の啓発と景観づくりに取り組みたいと思う。

みんなの「力」で地域を守ろう

組織名 佐波木農地保全会

位置： 萩市大字吉部佐波木

対象面積： 12.8ha

◆ 地域の現状等

当地区は県北部の標高 300m～350mにある中山間地です。農家数は、7戸で、当保全会対象農地は、12.8ha ですが、一戸当りの耕作面積は平均3ha です。

しかし、会員は、78才～50才で平均年齢は、65才で、高齢化と後継者不足が深刻です。平成19年度より、この対策に参加し共同で活動する意識を高め、地域を守っています。又、6戸がエコファーマーの認定を受け、6.6ha で、先進的取り組みで、環境にやさしい農業につとめています。



◆ 活動内容等

各会員が、自分の回りの農用地を保全することは、もちろんですが、農道・水路・河川・ため池だと共同部分は、年2回の共同活動を基本として、その時々合った保全活動を行っている。農道の危険箇所を修理するなどが、1例である。又、休耕田を利用した自然観察田の作成に取り組み、地元の環境学習も試みている。



◆ 効果

以前は、「自分の土地は自分で守る」という考え方が強かったように思う。しかし、高齢化と後継者不足が、深刻になっていくなか、この対策に参加して、共同で活動する、みんなで守るという心が芽生えたのではないだろうか。対策も4年が過ぎ、残り1年となった今、この芽を大切にしっかりと育てなければならないと思っている。



◆ 将来の展望

この頃、他の職場で働く会員の子供さん達が、時々活動を手伝ってくれる。農業だけでの、生活は無理な中山間地で、後継者の芽がチョットだけ出たのかなと思っています。山間の小さな地域ですが、みんなの力で、農地と水、そして生活を守っていきたい。

地域の絆で次世代に発信？

みはら さとかんきょうほぜんきょうぎかい

組織名 三原の郷 環境保全協議会

位置： 山口県 萩市 須佐三原野

対象面積： 81ha

1 地域の現状

本地域は、山口県北部に位置し、萩市中心部より北に35kmと遠く島根県に近く、北は日本海に面した中山間地域で南北に連なる山間の谷間で水田を中心とした一毛作地帯であります。

本三原野地域は、中国山地からの湧水とため池の利用により農業中心のところで町誌にも出てくる三原郷と呼ばれ須佐の原点でもある。

須佐地区の人口2600人ぐらいで高齢化率も41%と高く、若者の就農率も殆ど無く高齢・過疎の典型的な地域ですが、昭和63年から平成10年にかけて県営圃場整備事業を完成させ、この結果農地の保全が出来ている状況であります。この美田を有効に生かし、保全をしていくため平成19年度よりこの対策の「共同活動」に取組地域の農家・非農家を含め、地域の保全、農業施設の保全に取り組んできました。



2 活動の内容等

本地域は、5集落を包含し一つの組織としたことから協議会組織とし、各集落に支部を置いてその支部が活動の中心となり協議会が総括をし、「農地・水・環境地域の宝」を合言葉に5箇所に看板の設置をした。

共同活動が中心のため、基礎活動ではこれが徹底したため、また、中山間直支との兼ね合いもあり草刈が秋の終了後も徹底され、整然とした整備田の容姿を冬季も見ることが出来ている。

農地・水活動においては、土地改良連合会から講師をお願いし水路の目地詰め研修を実施すると共に地域協議会の開催される研修にも積極的に参加、農道の補修としてアスファルトの再生材の利用や、水路補修、ため池洪水吐けの簡易補修、農道法面の整備をすすめ施設の長寿命化が図られた。



環境活動は、地域住民一体となった「クリーン作戦運動」を5月に展開し施設の点検清掃、また、地域住民との触れ合いに発展した。つつじを利用したモニメントの作成や、花菖蒲園の造成など婦人組織の活動としても発展した。

また、高齢者の夏季における草刈作業は大変な重労働であることからモデルとして5箇所に「防草シート」敷設事業を排水路法面に実施しその効果を検証している。



3 効果

最初はこの対策の仕組みや事務的なむずかしさが懸念されていましたが、集落のみなさん、婦人組織の方の理解も得て農村環境の大切さの認識もこの対策をとって積極的に事業参加され関心も高まって5年目を迎えております。

圃場整備後20年を経過しており水路・ため池・農用地法面など痛みがひどく高齢化により修理も難しいのが現状でしたがこの対策に取り組むことで皆でやることで連帯感もでき、農用施設もきめ細かく管理されるようになってきています、また、構成員のかたからの意見も積極性を持ち点検活動だけでは分からなかったところも把握することが出来てきた。

早期に補修することで施設の長寿命化が計られ、草刈なども綺麗にされており病虫害の越冬もなくなり営農に対する有意性も評価できる。

4 将来の展望

今後、この対策を更に発展的に展開していくためには、現在の支部を単位として取り組むことにより、地域の絆をより太くし世代を超えた多様な構成員同士が結びつき少子・高齢化のなかで次世代への発信の場造りが出来これからの農村の大切さや、食の安心、安全について語り合うことと、ほ場整備による美田を将来に亘って守ることを期待してこの事業の5年目を迎えています。

そしてこの対策を有効活用して施設の長寿命化をすすめ、三原の郷の環境保全としてつつじや花菖蒲を活かした景観造りを継続し、農村に暮らしてよかったと思える生き活きとした郷をめざして残る1年を頑張りたいとおもいます。



融和で進む 地域の力

組織名 のうち みずなかはたく
農地・水中畑区

位置： 萩市大字須佐中畑

対象面積： 5.26ha

◆ 地域の現状等

当地域は、中畑地区農村地域定住促進対策事業として昭和54年に事業完了している。農地及びその周辺農地が対象で、農地、用水路については、農業者が管理し生産性を図り農家は、高齢化、過疎化が進み、地域の水田荒廃は進む一方でしたが、非農家との連携を結ぶことによって地域の保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

非農家のみなさんと、水路、農道等の作業協力を得ながら地域の環境美化を実施しています。



◆ 効果

地域の農地保全と環境美化の意識の向上がみられるようになりました。

◆ 将来の展望

本対策を有効活用し若者が地域に帰り来る、又、根付いてくれるような活動を継続していきたいと思っています。

集落ぐるみで棚田を守り未来へつなげよう

組織名 まえじくつち みず かんきょうくみあい
前地区土・水・環境組合

位置：萩市大字須佐前地 対象面積： 10.5ha

◆ 地域の現状等

海岸から突き出した532mの須佐高山中腹に点在する棚田からなる小集落で、農業、生活環境ともに厳しい条件下にあり、加えて高齢化も一層進化している。

そこで、平成19年度より、この制度を有効に活用し、農家は勿論のこと非農家を含めた集落ぐるみで、農地・地域の活性化に向けて、一歩一歩取り組んでいる。

◆ 活動内容等

集落ぐるみで、農地の維持管理を図る方法として、構成員全員と非農家の協力を得て、共同管理農地を設け、ワラビ園をつくり市民と交流をするとともに白い花が棚田に映えるように、秋ソバを植えて景観づくりに努めている。

また、農道の一部にコスモス、ヒガンバナ等を植えている。農地の保守には、水路、農道、法面の草刈等を適切に計画的に推進している。



◆ 効果

急傾斜地、棚田が多いことから、生産性の高い農業や望ましい姿には困難性があるが、自然立地を活かしながら、集落全体の理解、特に女性の活動意欲が発揮されはじめている。

◆ 将来の展望

長期的には、観光資源である須佐高山(山頂からの景観、展望、天然記念物磁石石、黄帝社、八相権現社等)の登山道に沿った集落であることから、棚田の保全、自然景観の管理に努め、広く市民及び観光客との交流等を図り地域の活性化を推進する。

受け継いだ農村景観を次代につなげよう！

組織名 ながおのかんきょうほぜんかい
長小野環境保全会

位置： 萩市佐々並

対象面積： 37ha

◆ 地域の現状等

当地区は、萩市の西南端に位置し、700mを越える山々が育む清き水を使って水稲を中心に栽培してきました。平成3年には圃場整備事業により基盤整備が行われ、これに合わせて農作業の受託組織が立ちあげられました。しかし、過疎化、高齢化により農業はもとより、農村景観の保全についても危惧する事態になってきました。平成19年度よりこの対策を利用して、農家と非農家の連携をとりながら、地域の保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

特定農業団体が核となり、町内会や親子会、地域応援団と連携して農地・水向上活動を実施するため池や水路、農道の維持管理をするとともに、コープふれあい米生産グループを含めて農村環境向上活動を実施しています。



◆ 効果

農業施設の維持管理は男の仕事という固定観念がありましたが、新技術の習得には女性の参加もあり、「自分達でできることは自分達でやる。」という気風が出てきました。また、農村環境の保全への関心が高まり、景観に不釣り合いなゴミの回収や廃棄プラスチック、残農薬の適正処分の気運が醸成されてきました。

◆ 将来の展望

これまで行ってきた交流事業をさらに拡大させ、多くの人と環境保全や食の安心、安全について考え、理解する活動をしたいと思います。また、この事業を利用して、出来る限り自分達で自分達の地域を守っていきたいと思います。

農業資源の向上

組織名 笛吹農地・水・環境保全倶楽部

位置:萩市大字明木字笛吹

対象面積:5.7ha

◆ 地域の現状等

対象面積(水田)5.7haのうち約30%は担い手によって耕作されているが、残りの70%の内半分は耕作者の高齢化と次世代の離農により10年以内に担い手に委ねざるを得なくなることが想定される。

◆ 活動内容等

農地の荒廃は、集落の荒廃・崩壊につながることから耕作放棄地の発生防止に努めるとともに、担い手等への耕作委託を容易にするため農業資源の向上を目標とし、具体的には農業用水路の土砂の除去、漏水防止及び畦畔、農道、水路の草刈りを共同活動の主な取り組みとする。



◆ 効果

共同活動による農業資源の向上意識の高揚の結果、活動をさらに促進するため向上活動による水路の長寿命化工事の実施、その他の制度の活用による猪の防護柵の設置を進め、さらに資源の向上を図っていきたいと思います。



◆ 将来の展望

農業資源の向上を促進することにより、高齢化する構成員の農業の継続や離農構成員の農用地の担い手への集積あるいは他の構成員による耕作の肩代わりを容易にし、集落の農業の維持・継続を目指します。

住みよい美しい集落をめざそう

組織名 あきらぎめいすいかい
明木明水会

位置： 萩市大字明木 対象面積： 9.8ha

◆ 地域の現状等

萩市内より旧萩有料道路を山口方面へ国道262号を約12km の中山間地で、圃場整備は完了し水路、農道等も整備されている。又、猪の防護柵、猿の電機柵等も設置され大変恵まれた環境にあるが、高齢化、過疎化が進み深刻な課題がある。

そこで、蔵屋、下市の2集落31名の会員で地域保全に取り組んでいる。

◆ 活動内容等

3水利、4水路の保全管理、農道等の草刈及び、環境の保全に子供会、自治会等と共に農村環境向上活動に取り組んでいる。



◆ 効果

地域全体で環境を守っていかうとする感心が高まって来た。特に、当組織は国道周辺の美化運動に力をいれている。



◆ 将来の展望

当組織は、大変小面積の割には、水路の距離が長く、又、巾は広く深く維持管理は大変であるが努力する。

また、集落の美化に力を注ぎたい。

「集落の絆」をつたえる！

組織名 おおじもほぜんたい
大下保全隊

位置： 萩市大字佐々並 対象面積：23ha

◆ 地域の現状

当地区は、平成2年度に県営ほ場整備事業を完了した地域です。しかしながら、現在、高齢化・過疎化が進み、地域の深刻な課題であると考えています。そこで、平成19年度よりこの対策を有効に利用して、農家・非農家を含め連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。

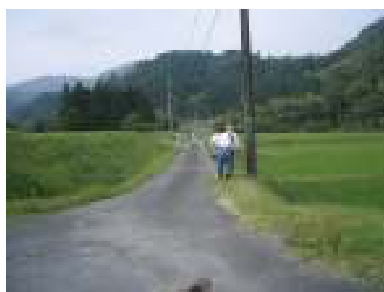
◆ 活動内容等

大下水利組合が佐々並川水系を主体に管理、農事組合法人おおじもファームが農地を主体に管理するなど、それぞれ連携して農地・水向上活動を実施しています。また、自治会が地域の環境・美化を守るため、農村環境向上活動を実施しています。



◆ 効果

自治会など多数の方々が参加することにより地域全体で環境を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高まってきたのではないかと考えています。この対策も5年目となり、地域住民の環境に対する意識はかなり向上しており、地域住民たちも水の大切さを関係者から学ぶなど効果が得られています。



◆ 将来の展望

今後、この対策を更に発展的に展開していくことにより、「世代を超えた多様な構成員同士が、これからの農村や食の安心・安全について語りあうことができればいいな」と考えています。また、本対策を有効活用して開水路の泥上げを定期的実施するとともに、地域の環境保全の一環としてひまわりとコスモスによる景観づくりをして、地域住民も楽しみながら活動をしたいと考えています。

地区環境を譲り次世代へ！

しもよこせ ほたる かい
組織名 下横瀬穂垂るの会

位置： 萩市明木 対象面積： 21.6ha

◆ 地域の現状等

当地区は、旧阿武郡の中山間地に位置し、30年前に圃場整備は完了したものの人口の減少、高齢化が進み次世代への不安がある中、平成22年2月農業法人の設立。当保全向上対策には平成19年度から、農業者、非農業者、女性の部と共に地区全体で有効に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

6系用水路及び排水路、農地を農業者が保全管理をし地域の環境美生態系(蛍の生息する仏木川)、農道を地区全体で草刈、花植え清掃等維持保全管理を実施しています。12月には地区住民と近郊に住まいする子、孫達との交流会も行っています。



◆ 効果

圃場整備が完了して30年近く経った農地、水路、環境は成るがままの状態だった。当保全向上対策に取り組んで活動してきたことで、農地、水路、環境はより良くなった。地区の皆の保全向上の意識の高揚ができた。



◆ 将来の展望

「10年先誰が居る？」などと不安はあるが、今この対策事業を更に取り組み活動していくことで、将来の後継者にここの地域資源、財産の価値を伝えていけると想っています。



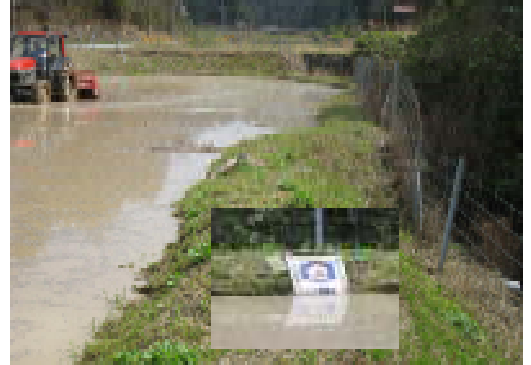
明木川の最上流部に位置する集落として水質保全を図ろう！

組織名 どうぜんしゅうらくほぜんかい
同前集落保全会

位置： 萩市大字明木地内 対象面積： 7.2ha

◆ 地域の現状等

当地区は、萩市大字明木地区明木川の最上流部に位置する集落で、少子、高齢化、過疎化の典型的な中山間地域ですが、平成14年度に県営圃場整備事業、平成17年度に獣害防止柵を完了し営農活動に取り組んでいます。そこで、平成19年度から当該対策を有効に活用し、農家、非農家との連携をとりながら、地域保全に取り組んでいます。



◆ 活動内容等

本保全会は集落内の約7.2haの農地、4.1kmの水路、1.8kmの農道等の資源を保全する活動や資質の向上、延命化を図る農地、水向上活動を実施しています。また、同前区会(自治会)、同前の水と命を守る会が協力し地域の環境、美化を守るための農村環境向上活動を実施しています。

◆ 効果

最初は、他事業の実施中のため役員だけの参加となりはしないか、棲み分けはできるのか等の懸念はありましたが、県土地改良連合会や関係機関の指導、助言により、地域全体で環境を守っていこうとする意識や農村環境への関心が高まってきたのではないかと思います。当該対策も5年目を迎え、集落の方々の水質を含めた環境に対する意識は向上していると思います。

◆ 将来の展望

今後は、当該対策のより一層の活用により体制整備構想にある本保全会の共同活動の将来像、他出者を含めた地域農業を支える人材の育成、確保、農業関係者等から新規就農者の勧誘を含めた担い手を確保し、活動組織及び本集落存続のための体制強化や活性化を図ります。また明木川の最上流部に位置する集落として、同前区会(自治会)、同前の水と命を守る会が協力し水質の保全を図ります。

「たかつ・いきいきサロン」で集落の輪

組織名 たかつしゅうらくほぜんかい
高津集落保全会

位置：萩市大字佐々並高津

対象面積： 22.2ha

◆ 地域の現状等

当地区は県営圃場整備事業を実施し、同時に生産組合を設立し、機械の共同化に取り組み農業を維持管理してきた。その後、平成18年10月特定農業団体ファームランド高津を設立し地域農業の担い手の育成、確保し、地域の農業の安定を図り更なる経営発展のため、農業生産法人をめざしているが、法人にはなっていない。平成19年度より、農地・水・環境保全事業に取り組み、農業収入拡大のみならず、自治会との連携を密にし、景観植物(花壇の整備)や自治会交流(いきいきサロン)等実施し、地域づくりや、環境保全活動に取り組んでいる。

◆ 活動内容等

農道舗装、バス停周辺の花壇造り、花植え、有害鳥獣対策(猪柵)点検、溝ふしん、役員による農道、水路の点検。地域住民との交流活動「高津いきいきサロン」等、農村環境向上活動を積極的に実施している。



◆ 効果

農道舗装について、市の補助事業の採択基準に外れた農道が舗装でき、住民が喜んでいる。

環境美化の花植えについて、バス停周辺や、荒廃地に菜の花やコスモスを植え、地区が明るくなった。

地域住民との交流活動「いきいきサロン」参加者が増えた。

年一回の総会を実施しているが、会員全員の参加で地区をどうにか守っていこうという話が出て、皆にこの事業の内容が浸透してきた。

◆ 将来の展望

予算が小さくて、大きい事業が出来ない。資金の用途についても、もっと自由に使えるとよい。世代を超えた多様な構成員同士が、これからの農村や、食の安心について語り、地域住民がもっと楽しみながら活動が出来たら。

歴史ロマンの香るふるさと「紫福上地域」を

7集落の力を合わせ守って行こう！

組織名 紫福上農村環境保全会

位置：萩市紫福上 対象面積：87ha

昭和 50 年代にほ場整備をした水田を利用し、水稲、野菜(白菜、キャベツ、カボチャ等)、タバコなどを栽培し農業経営を行っています。JA 等の指導のもと、安全・安心な農産物を消費者に提供するため技術研修を重ね優良産地としての確立を目指している。また、特定農業団体や認定農業者を中心に、農地の有効利用と保全管理に努めている。

しかしながら、土地改良施設の老朽化と農業者の高齢化により、地域及び産地を維持することが、難しくなってくることから、非農業者の参画を得ながら、地域集落会との連携を密にし、協働して地域の組織強化と地域保全に取り組んでいく必要があると感じている。



歴史ある台地で、生産活動をつづけよう

組織名 は がだいちいきしげんほぜんたい
羽賀台地域資源保全隊

位置：萩市大字黒川(福川地域)

対象面積：26.6ha

◆ 地域の現状等

当保全隊は、昭和43年県営ほ場整備により台上の畑地を水田にし、主に水稲を中心に営農を開始し昭和50年に農事組合法人 羽賀台生産組合を設立し、転作が行われるなかで、水稲から複合経営へと転換して現在に至っています。

また、当地域の中心には旧藩主 毛利敬親が大操練の際に馬の鞍を掛けたとされる「鞍掛の松」(この鞍掛の松は枯死したが現在二世が生育中！)があり、この行動を記念した天保閔兵之地碑が建てられています。

平成19年度よりこの対策を有効活用することで、非農家との連携をとり、地域資源の保全に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

天保閔兵之地碑を背後に抱え保全隊と共に、草刈り等を中心に農業用施設への維持管理を行うことにより地域の資源を守りながら農村環境に努めています。



◆ 効果

当時は、法人が雇用した人達で草刈り等をしていましたが、結局管理が届いてなかったがこの対策に取り組んだことで組合員全体の活動への意識が高まりそして、協力体制が出来上がり協力者のもとで活動ができるようになり地域環境の必要性等の効果が得られています。

◆ 将来の展望

歴史あるこの台地に農村環境・農産物に対する理解、また住民の生活空間の醸成にもつながるよう努力していきたいと思えます。

地域を愛する心を持とう

組織名 ふく さと のうちまもりたい
福の里 農地守り隊

位置： 阿武町福田上、福田下 対象面積： 105.9ha

◆ 地域の現状等

福の里地域は昭和47年に山口県営第1号として200haに圃場整備が実施され30aの大きい圃場で、機械も大型化し作業も早く終了してきました。しかし40年経過した現在排水が悪くなり、年々あがる転作率に対応が難しくなってきました。そこでこの農地水事業に取り組み水路の改修や圃場の排水を進めています。

◆ 活動内容等

農地管理は農事組合法人福の里と一緒に
なつて事業を進めています。水稻は無消毒種籾全量
を温湯消毒実施でのエコ50に取り組み、JA
S米も1.5ha 実施します。浅水代かきや河川
の掃除をバックフォーで行ったり、学校田を設
けて子供に田植えから収穫、餅つきなど、また、
保育園には秋の野菜抜き取り体験などを実施し
ています。



◆ 効果

排水の悪い所や荒廢地を復旧し、今まで栽培
していなかった自然薯やコンニャク芋を栽培し
直売所で販売もしています。女性パワーで加工
事業も年々販売高をアップし、都会からのリピ
ーターも増加して賑わっています。



◆ 将来の展望

第1期は終了しますが、第2期、3期と継続的に実施され農地の保全が出来るよう希望します。又これにより若者に農業のおもしろさを実感できるように、老若男女一緒になって地域を盛り上げたいと思います。

共に栄える地域づくり

組織名 うぶかのうちほぜんかい
宇生賀農地保全会

位置：阿武町 対象面積： 92ha

◆ 地域の現状等

当地区は平成9年度に山口北部国営農地再編整備事業に着手し、順調な経営を維持して来ていますが、高齢化の進展は予想を大きく上回り、農作業や地域保全の対応が求められています。

◆ 活動内容等

農事組合法人うもれ木の郷を始め、宇生賀保護組合・宇生賀保全会・四つ葉サークル・宇生賀中央自治会等がより綿密な連携を計り、農地の保全・水利の確保・農村環境整備に取り組んでいます。



◆ 効果

農地を集約化され、自治会も統合され、地区民全員が宇生賀地区を自分の庭と考え、宇生賀夢マップによるむらづくり活動により、道路を花いっぱい一周するフラワーロードの整備や地元小学生との世代を超えた継承を行うことなどに取り組み、農地を地区内皆で守る意識が高まってきた。



◆ 将来の展望

我々の地域だけが良くなるのではなく、他地域と連携をより深め、農地・水・環境保全国上対策協議会のご指導の基に弱肉強食の農村社会ではなく、共に栄える農村社会の実現を目指したい。



地域の豊かな自然を未来へ残そう

組織名 福田下農地保全組合

位置：阿武郡阿武町 対象面積： 52ha

◆ 地域の現状等

阿武町の中山間地区に位置する当地区では、農家の高齢化、後継者不足の問題が深刻となっています。そのような中で、地区内の農家と非農家が協力して、農地の保全や環境の美化に取り組んでいます。

◆ 活動内容等

農事組合法人、あぶの郷を中心として、農地の管理を行い、五ヶ所のポンプ施設と一つのため池の維持管理に努めています。また、婦人会や子供会、自治会が協力して環境向上活動としての花の植栽や、環境の美化を行っています。



◆ 効果

ポンプ施設や農道、水路などの維持管理がスムーズに行えるようになりました。草刈りなどの作業を共同で取り組む機会が増えたと思います。



また、農機が入りにくい小さな畑などを、婦人会や自治会などで、花壇や野菜畑として活用され、遊休地の活用、改善につながっていると思います。

◆ 将来の展望

今後、農地では、環境に良いとされる「エコ 100」の栽培に取り組むとともに、堆肥などを活用した環境にやさしい農業を進めたい。また、農地の保全のためにも、周りの施設の管理も計画的に進めていこうと思います。環境活動では、婦人会や子供会だけではなく、地域全体の参加を目標として、活動を進めたいです。